

## 10月から第46期に、既往の取り組みをさらに推進へ

管理物件のオーナー様、売買・貸借・工事施主等各分野のお客様、協力業者並に社員の皆様のご支援・ご協力により、9月末の決算を増収（残念ながら減益）として締めくくることが出来ました。

京都は観光客効果が大きくまち全体が活況化し、不動産分野においては中心4区の価格が高騰し、周辺区においては稲荷地区は特別としても全体的にじわっと上昇してきました。このような環境にあって当社も忙しい1年に終始し、前期を少し上まわった売上を上げることができました。改めまして関係先の皆様に厚くお礼を申し上げます。

今期における市場環境は、ほぼ同様に推移するものと見ており、コア分野である物件管理・売買と貸借の流通・メンテナンス工事・損保代理においては着実に品質面の向上と売上の確保に努め、チャレンジ分野の空き家と高齢者住宅の取組み・京町家の保全継承とゲストハウス運営・不動産相続と活用等のコンサルティングにおいては引き続き開拓と推進に努め、当社営業の特徴としての定着をはかる所存です。

この為に、役員社員のレベルアップをはかり、健全な経営に努めてステークホルダーの皆様とコミュニケーションをとり、ともに成長し利益を実現してまいります。

(店主 岡本秀巳)



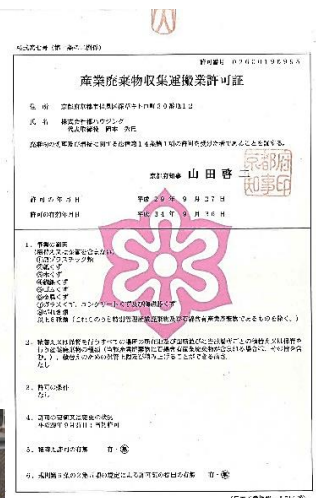
## 本年度も「預り金保証制度」の経営審査に合格

## 「産業廃棄物収集運搬業」許可取得



本年度も公益財団法人日本賃貸住宅管理協会が実施する経営審査に合格し、日管協預り金保証制度の保証対象企業となりました。

新たに京都府知事から「産業廃棄物収集運搬業」の許可を受けました。



(谷田香織)

## 高齢者の在宅生活支援の取り組み広がる

10月25日から住宅セーフティネット法の改正法が施行されます。改正のポイントは住宅確保要配慮者（高齢者、障がい者、子育て世帯等）への住宅確保の支援、空き家の流通促進です。（登録住宅の改修費補助と家賃・保証料の補助については続報します）

少子高齢化に伴う社会保障費の増大と空き家の増加を背景として、各地で既存住宅の活用を推進し、高齢者の在宅生活を支援する取り組みが行われています。

京都市では現在「高齢者住まい・生活支援事業」が実施されており、当社もこの事業の開始当初からの協力企業として参加しています。本事業では連携する社会福祉法人が週に一度の安否確認を行うことで、貸主様が高齢者に住宅を貸すことへの不安を解消しようという取り組みです。当社では京都市の全成約数44件のうち22件を成約しています。

9月27日にキャンパスプラザ京都にて行われた作業部会では新たに2つの社会福祉法人が見守り担当法人として参加する事が発表され、ますます広がりを見せています。

高齢者や障がい者など全ての人々が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる「地域共生社会」を実現する為には、「我が事」としてとらえ地域全体で「丸ごと」支え合う意識が求められていると感じます。当社はチャレンジ分野の有力事業として力を入れていますので、貸主の皆様におかれましては物件の提供においてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



作業部会の様子：（一財）高齢者住宅財団 事業報告ビデオより

（賃貸住宅・高齢者住宅部門 荒川博）

## 社内旅行、今年は箱根へ

9月12日（火）13日（水）に社内旅行を実施し今年は箱根へ行ってきました。

初日は日本一のつり橋「三島スカイウォーク」へ、晴天なら富士山が見えるとのことでしたが、あいにくの曇天で富士山は拝めず残念でした。その後、寄木細工体験でコースターを作成しました。宿泊は温泉旅館「ホテル河鹿荘」へ丁寧なおもてなしと素敵な温泉にほっこりさせていただきました。

2日目は、登山電車からケーブルカー、ロープウェーと乗り継ぎ、大涌谷へ。ロープウェーで山を越え、大涌谷が一望できた瞬間は思わず声が出るほど感動しました。食べると7年寿命が延びる黒たまごもしっかりいただいてきました。その後芦ノ湖・箱根関所などを観光し盛りだくさんな2日間で、心配していた雨もほとんど降らず旅行を満喫することが出来ました。

（谷田香織）



大涌谷を眼下に

